

高田保馬 保馬 社會學・經濟學者、歌人、文學・經濟學博士。明治十六年十一月佐賀縣生れ。昭和四十七年二月自殺（八三—九三）。明治四十二年京都帝國大學文科大學哲學科卒。東京商科大学・九州帝大等教授を経、昭和四年京都帝大教授、十八年民族研究所所長、二十六年大阪大學教授、のち大阪府立大學・龍谷大學各教授歴任。二十九年文化功勞者。夙い短歌を能くし、與謝野寛主宰誌第二次「明星」、のち中島哀浪主宰誌「心のくに」同人。

著書『社會學原理』（大正八年二月五日岩波書店）、『現代社會の諸研究』（大正九年二月十五日岩波書店）、『社會と國家』（大正十一年五月、二十五日岩波書店）、『社會學概論』（大正十一年十一月十五日、改訂・昭和十五年二月一日岩波書店）、『經濟學研究』（大正十二年九月十五日岩波書店）、『階級及第二史觀』（大正十四年六月十五日改造社）、『社會關係の研究』（大正十五年十一月五日岩波書店）、『人口と貧乏』（昭和二年十一月十五日木鐸論社）、『融和問題の一考察』（昭和四年八月、十日岡山・岡山縣協和會「融和事業叢書」）、『社會雜誌』（昭和四年十月、二十五日日本評論社）、『經濟學新講』全五冊（第一卷・昭和四年十一月十日、第二卷・五年六月二十五日、第三卷・十月五日、第四卷・六年八月十五日、第五卷・七年六月十日岩波書店）、歌集『心のくに』（昭和六年五月五日日本評論社）



論社）、『思想問題と教育』（合著・思想問題研究会編、昭和八年八月十日社會教育會）、『國家と階級』（昭和九年十月、二十日岩波書店）、『利子論研究』

究』（昭和十年八月十日岩波書店）、『利子論』（昭和十一年十一月

十日岩波書店)、 『回想記』 (昭和十二年十一月十日岩波書店)、 『東
亞民族論』 (昭和十四年六月十日岩波書店)、 『民族と經濟』 (昭和
十五年五月五日有斐閣)、 『新制十論研究』 (昭和十五年七月一日岩
波書店)、 『時代の條件』 (合著・池島重信編、昭和十五年九月十七
日石取書店)、 『思郷記』 (昭和十六年十一月一日文藝春秋社)、
『民族論』 (昭和十七年二月十日岩波書店)、 『京小田舎あり』 (合
著・宮崎小次郎編、昭和十七年五月五日京都・晁文社)、 『民族耐之』
(昭和十七年十一月一日甲鳥書林)、 『洛北集』 (昭和十八年十月
十五日甲鳥書林)、 『民族研究所科學論集・第二冊』 (小松堅太郎合
著、昭和二十年十一月民族研究所)、 『終戰二論』 (昭和二十一年五
月五日有恒社)、 『隨筆』 『わがわがのこゝろ』 (合著・大庭羅織、昭和二十
一年十一月十五日京都・晁文社)、 『洛北雜記・第一集』 (昭和二十一年十
一月十五日大阪・大丸印刷株式會社)、 『ワルウシズム』 對決するを
の『批判』と『批判』 (合著・河野來吉編、昭和二十四年八月十五日勞
働文化社)、 『耐之夜話』 (昭和二十五年六月二十日實業之日本社)
等。